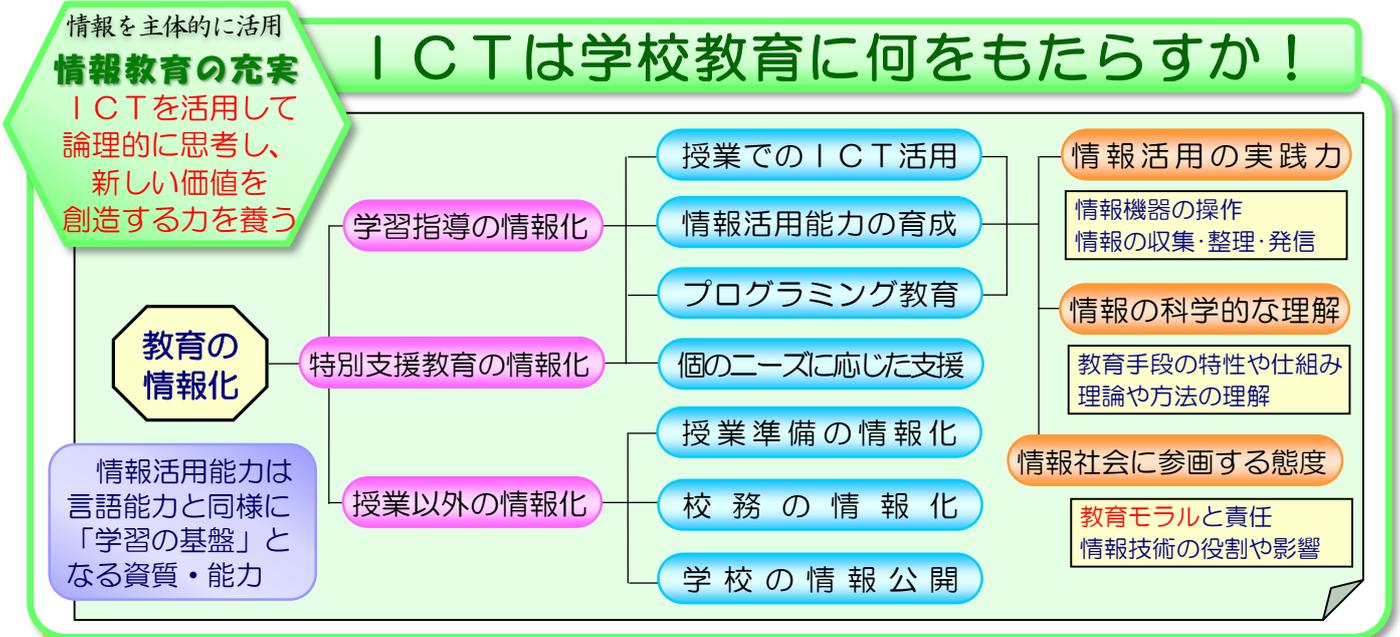




感性を豊かに働かせながら、豊かな未来を創造していく

これからの社会や人生を、どのようにより良いものにしていくか。私たち人間は、多様な文脈が複雑に入り交じった環境の中でも、必要な情報を見出しながら状況を分析し、考えをまとめたり、相手の気持ちを慮った表現方法を工夫したりすることができます。答えのない課題に対して多様な他者と協働しながら、目的に応じた納得解を見出せるのが、人間の強みです。

ICT活用やプログラミング教育は、人間の感性や知性を生かすことに、その成否があります。



ICTが授業を変える！新しい学びのスタイルを形成



- ① 発問・言葉の吟味 子供に伝わりやすい言葉、教師の意図が明確な言葉の工夫
- ② 構造的な板書計画 学習課題やまとめを明確にした学習経過や思考の流れの整理
- ③ 授業展開の改善 授業テンポ、説明・思考・習熟のバランス、効果的な場面で活用
- ④ 振り返りの工夫 授業の学びが自分にとってどのような価値があったか考える時間

タブレットの活用

情報活用能力とともに、**主体的な学び**を図ることで、学力が向上します。



教室での活用

大型画面や実物投影機を活用し、思考の過程を共有し、**学びを深めます**。



プログラミング教育

プログラミングを通して**論理的な思考や課題解決力、創造力**を培います。



オンライン授業

場を選ばず、情報発信や情報交流により、学びの**可能性を広げます**。



「教育の情報化」を推進するためには、環境整備が急務です。4月当初、ブラウン管TVが鎮座していた教室には、今年度中に大型TVと実物投影機を設置し、全児童に1台のタブレット、全教員に1台のiPadの導入を目指しています。また、プログラミング教育、オンラインも多様に試行し、児童の多面的な力を育成しています。

プログラム言語や技能を習得することが目的ではありません。子供にとっては、表現や創作手段のひとつです。クレヨンや粘土と同じように、プログラミングを通して、よりよい社会と幸福な人生の創り手になるために、**論理的な思考や問題を解決する力、他者と協働し、新しい価値を創造する力を**育んでいきます。